

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		中心市街地活性化事業						予算事業名		中心市街地活性化事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	中心市街地の活性化に関する法律				
				07	01	03	2001	経常経費						
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分		主要事業				
		3-3活気にあふれた商業の振興(商業)								重点事業				
		②にぎわいのある商業の振興						担当課係等		商工観光課				
		3空き店舗の利活用								商工振興係				
事業期間		継続(平成16年度～年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
結城市内で起業する方が増え、空き店舗の活用に補助金を交付することで空き店舗が解消され、新しい人の流れにより中心市街地が活性化							北部市街地の活性化及び、商店街の振興を目的として事業を開始した							
する。														
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
創業支援者に対して、創業支援セミナー(経営・財務・人材育成・販路開拓)を実施し、規定の回数を受講した者に、証明書を交付し登録免許税の軽減措置や信用保証料枠の拡大等の支援を受けることができるよう手続きを行う。証明書が発行された者で、中心市街地での創業を希望する場合は、空き店舗の活用に補助金を交付する。							市民							
また、観光誘客を図るため、観光客向け商品の取扱いを条件として、市内の事業者が店舗を改修する際にリフォーム資金の一部を補助する。							創業希望者							
更には、北部市街地を中心に地域活性化を図るため、街なか賑わい創出事業を実施する。							空き店舗を活用する団体及び個人							
							【事業をとりまく環境の変化】							
							中心市街地の商店街は、経営者の高齢化と後継者不足などによる空洞化が進み、空き店舗が増加し、シャッターの閉まったままの建物が多く商店街に活気がない。							
							しかしながら、コワーキングスペースyuinowaを中心に、新しい人の流れが生まれつつあり、創業に関する問い合わせが増えている。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
創業希望者に対しセミナーを実施し、規定の回数を受講した者に証明書を交付し、登録免許税の軽減措置等の支援を受けることができるよう手続きを行う。また、市内事業者が店舗を改修する際に、資金の一部を補助する。				創業希望者に対しセミナーを実施し、規定の回数を受講した者に証明書を交付し、登録免許税の軽減措置等の支援を受けることができるよう手続きを行う。また、市内事業者が店舗を改修する際に、資金の一部を補助する。				創業希望者に対しセミナーを実施し、規定の回数を受講した者に証明書を交付し、登録免許税の軽減措置等の支援を受けることができるよう手続きを行うとともに、空き店舗の活用に対する補助事業を実施する。また、市内事業者が店舗を改修する際に、資金の一部を補助する。						
■事業費														
				R01年度		R02年度								
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地			方	債	0	0							
	そ			の	他	0	0							
	一			般	財	源	3,309	2,617						
歳入計(千円)				3,309		2,617								
歳出内訳	節(番号+名称)			金額(千円)			金額(千円)							
	08	旅費		2			9							
	10	需用費		7			8							
	12	委託料		1,200			1,500							
	13	使用料及び賃借料		600			600							
	18	負担金補助及び交付金		1,500			500							
歳出計(千円)(A)				3,309		2,617								
伸び率(%)						-20.91								
備考	総合計画104ページ 予算書130ページ													令和
	2年度より空き店舗等活用補助金の一部については、まち・ひと・しごと創生事業にて計上している。(令和2年～令和4年)													

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	創業支援セミナー受講者数	人	目標	40.00	40.00	40.00
	結城市商工会議所で開催する「起業・創業支援セミナー」の受講者数		実績	91.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	空き店舗を活用した起業・創業者数	人	目標	2.00	2.00	2.00
	セミナー受講者のうち、空き店舗を活用した起業・創業者数		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	中心市街地を活性化させる上で、空き店舗活用を推進する必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	実施主体が必ずしも行政が行う必要はないと思われる。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	民間主体による活用方法へ誘導する必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	補助期間以降の事業継続性を把握する必要があるため、どちらともいえない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	現段階においては、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	補助期間が過ぎると閉店してしまうケースも見受けられるため、継続性を考えるとどちらともいえない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	北部市街地活性化エリア内の空き店舗を対象としているため、対象となる貸出可能な空き店舗数は少ない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
既存の商店街においては、経営者の高齢化及び後継者がいない状況にあり、世代交代が進んでいない。中には、閉店する商店も少なくない。現段階においては、北部中心市街地活性化エリア内においてのみ補助対象としている。しかしながら、対象となる貸出可能な空き店舗数は少ない。現状と課題を整理し、今後の北部中心市街地エリアの方向性を考える必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和2年度に市庁舎が駅南側に移転することから、中心市街地活性化計画の見直しが必要である。また、北部中心市街地においても方向性を検討する。また、平成28年5月20日に創業支援事業計画が国の認定を受けてから、創業支援ネットワーク協議会を立ち上げ、関係機関と情報の共有化を図っている。今後、本協議会を主軸に、創業支援セミナーや相談体制の充実を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 市庁舎移転、旧公民会の解体、伝建地区の計画、シルクロードの今後など、中心市街地を取り巻く環境が大きく変わってしまう。関係する部署や機関と協議して、中心市街との現状と今後について共通認識を持たなければならない。その中で新たな「中心市街地活性化計画」の必要性について協議する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	